# 蕨市管路オリエンテーリング報告書

日時　　平成28年8月24日（水）　13時から

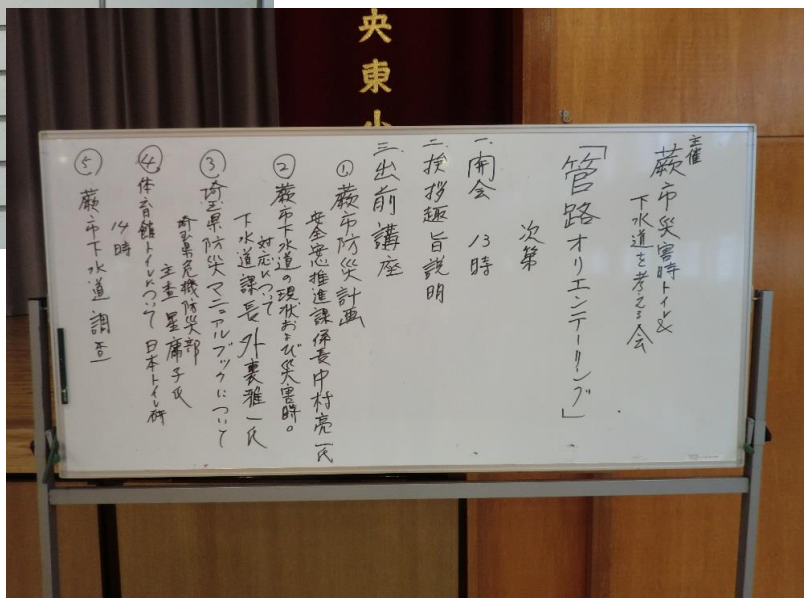
場所　　蕨市立中央東小学校～蕨市南部ポンプ場

| | | |
|---|---|---|
| 管路協出席者 | 高杉関東支部長 | 高杉商事株式会社 |
| | 大渕副関東支部長 | 株式会社ヤマソウ |
| | 蟻川埼玉県部会長 | 環境技建株式会社 |
| | 荒木関東支部技術副委員長 | 三栄管理興業株式会社 |
| | 池田関東支部技術委員 | 三喜技研工業株式会社 |
| | 根岸埼玉県部会事務局長 | 環境技建株式会社 |
| | 工藤埼玉県部会員 | 環境技建株式会社 |
| | 寺田埼玉県部会員 | 三栄管理興業株式会社 |
| | 浅野埼玉県部会員 | 管清工業株式会社 |
| | 大森東京都副部会長 | 高杉商事株式会社 |

主旨　　トイレから流した下水はどこへ行くのか？　行く先は荒川水循環センターとわかっているが、トイレから先、どこをどうやって流れてゆくかを下水の流れに沿いながら循環センターまでのオリエンテーリングを通じて下水の流れてゆく経路を実際に知ることで、災害に対する備えといざというときの行動と役割の分担を考える。

参加者は中央東小学校を避難場所とする中央7丁目自治会等の地元住民の方々。

会場となった中央東小学校




オリエンテーリング
式次第

出前講座講師

左から　　蕨市安全安心推進課係長
中村　亮一　様

蕨市下水道課長
外裏　雅一　様

埼玉県危機防災部主査
星　庸子　様

出前講座講義状況

全部で45名ほどの方々が熱心に
聴講していた。

災害時トイレ下水道を考える会会長
菊地　正浩　様

災害時のトイレの確保がいかに大変かを
熱心に説明されていた。

雨水桝見学

始めてみる桝の内部に
皆、興味深々。

汚水桝見学

「随分綺麗ね。」との声も

始めてみるマンホール内部

あまりの深さに皆、びっくり
「落ちたら大変、死んじゃうね。」

蕨市南町ポンプ場の見学

除塵機の説明

大きなモーターに
一同仰天

この人孔から先の幹線は
埼玉県の管理範囲との説明

中央で説明している方が
下水道広報プラとホーム
企画運営副委員長　栗原秀人氏

最後にポンプ場敷地内で
質疑応答、下水道料金の
クイズ等を行い最後に
小川副代表の挨拶で閉会した。

感想

管路協関東支部のメンバーと蕨市災害時トイレと下水道を考える会の管路オリエンテーリングに参加した。気温は30℃ほどだが、集合場所の中央東小学校の体育館内は非常に蒸し暑く、出前講座が始まるころには皆汗をビッショリ掻いていた。あまりいいとは言えない環境の中で各講師の講演を参加者の方々はとても熱心に聴講していた。

講義の後、災害が起きた場合を想定して体育館が避難場所となった際の体育館内のトイレの使い方、校庭に廃棄物を捨てる際の捨て方説明の後、実際に道路に出て雨水桝、汚水桝、人孔の内部の見学、そして中継ポンプ場内の機器の説明、ポンプ場の役割の説明等の後、質疑応答、クイズ等を行って閉会となった。

先に理由を説明した上で桝の説明の際に、下水に油を流さない、雨水桝に落ち葉がたまっていたら排除する、道路掃除の際砂等を雨水桝内に掃きいれない等住民レベルでできることを伝えているのはとても好感が持てた。

参加者の方々の災害時の避難場所のトイレ、廃棄物処理の方法そして普段からの下水道に対する思いやり等に熱心に取り組む姿勢のレベルが高く驚いた。
今後、どのような形でこの会が進んでゆくのか数年後、又参加してみたい。

高杉商事株式会社　　大森　滋